

2021年度 大阪産業大学「現在の授業の運用状況」早見表

- ・2021年度（令和3年度）における本学での授業は「ハイブリッド方式（対面受講、同時双方向オンライン受講の併用）」で行います。
 - ・「ハイブリッド方式」の運用については、授業のタイプ（下の表の授業タイプX,Y,Z）ごとに異なります。
 - ・すべての授業タイプでは、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえて、レベル1からレベル4までの運用を変えながら行います。そのため、日頃より、「現在のレベル」を把握しながら、適切に受講してください。
- コロナ禍の授業の運営について、御協力をお願いします。

	制限「大」 ← 《新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえた対面受講のレベル》 → 制限「小」				
	レベル4	レベル3	レベル2b	レベル2a	レベル1
授業タイプX <small>(例)</small> ・一般の講義科目 （全受講者がおよそ150名（脚注1）以下の講義科目）	すべてのグループにおいて、「同時双方向オンライン受講」をしてください。	すべてのグループにおいて、「同時双方向オンライン受講」をしてください。 *（脚注2）も参照ください。	3グループ別の対面受講日が設けられています。 「対面受講日のグループ」は、「同時双方向オンライン受講」もできますが、できるだけ「対面受講」を心がけてください。 「対面受講日ではないグループ」は、自宅や大学の自習室で「同時双方向オンライン受講」をしてください。 *（脚注2）も参照ください。	3グループ別の対面受講日が設けられています。 「対面受講日のグループ」は、大学での対面受講が「必要」です。 「対面受講日ではないグループ」は、自宅や大学の自習室で「同時双方向オンライン受講」をしてください。 *（脚注2）も参照ください。	3グループ別の対面受講日が設けられています。 「対面受講日のグループ」は、大学での対面受講が「必要」です。 「対面受講日ではないグループ」は、自宅や大学の自習室で「同時双方向オンライン受講」をしてください。 *（脚注2）も参照ください。
授業タイプY <small>(例)</small> ・多人数が履修する講義科目 （全受講者がおよそ150名（脚注1）を超える講義科目）	すべてのグループにおいて、「同時双方向オンライン受講」をしてください。	すべてのグループにおいて、「同時双方向オンライン受講」をしてください。 *一部の学生は「対面受講」も可能です。（脚注2）も参照ください。	「対面受講日のグループ」は、「対面受講」のみならず、大学の自習室や自宅等からの「同時双方向オンライン受講」も選択可能です。 「対面受講日ではないグループ」は、自宅や大学の自習室で「同時双方向オンライン受講」をしてください。 *一部の学生は「対面受講」も可能です。（脚注2）も参照ください。	「対面受講日のグループ」は、「対面受講」のみならず、大学の自習室や自宅等からの「同時双方向オンライン受講」も選択可能です。 「対面受講日ではないグループ」は、自宅や大学の自習室で「同時双方向オンライン受講」をしてください。 *一部の学生は「対面受講」も可能です。（脚注2）も参照ください。	「対面受講日のグループ」は、「対面受講」のみならず、大学の自習室や自宅等からの「同時双方向オンライン受講」も選択可能です。 「対面受講日ではないグループ」は、自宅や大学の自習室で「同時双方向オンライン受講」をしてください。 *一部の学生は「対面受講」も可能です。（脚注2）も参照ください。
授業タイプZ <small>(例)</small> ・実験・実習・演習・実技科目 ・卒業研究、大学院関連 ・その他学科が指定する講義科目や少人数が履修する講義科目	すべてのグループにおいて、「同時双方向オンライン受講」をしてください。	すべてのグループにおいて、原則として「対面受講」となります。 *ただし授業によっては、実習・演習室の収容人数などの事情により、「対面受講」の人数を制限し「同時双方向オンライン受講」をしていたこともあります。詳細は授業の担当教員の指示に従ってください。 *さらに一部の授業（特に講義科目）では、「同時双方向オンライン受講」のみをお願いすることもあります。詳細は授業担当者の指示に従ってください。	すべてのグループにおいて、原則として「対面受講」となります。 *ただし授業によっては、実習・演習室の収容人数などの事情により、「対面受講」の人数を制限し「同時双方向オンライン受講」をしていたこともあります。詳細は授業の担当教員の指示に従ってください。	すべてのグループにおいて、原則として「対面受講」となります。 *ただし授業によっては、実習・演習室の収容人数などの事情により、「対面受講」の人数を制限し「同時双方向オンライン受講」をしていたこともあります。詳細は授業の担当教員の指示に従ってください。	すべてのグループにおいて、原則として「対面受講」となります。 *ただし授業によっては、実習・演習室の収容人数などの事情により、「対面受講」の人数を制限し「同時双方向オンライン受講」をしていたこともあります。詳細は授業の担当教員の指示に従ってください。
各種窓口および施設（PC演習室、総合図書館など）の利用	原則として利用不可です。 *（脚注3）（脚注4）も参照ください。	利用者の制限（利用者による申告、人数制限など）があります。当日に「実験・実習・演習・実技への対面出席」「卒業研究・大学院関連の活動」「修学に不可欠なことからへの対応」を許可された学生に限定されます。 *（脚注3）（脚注4）も参照ください。	一定の制限（利用者による申告、人数制限など）があります。 *詳細は利用する窓口や施設において確認してください。 *（脚注4）も参照ください。	一定の制限（利用者による申告、人数制限など）があります。 *詳細は利用する窓口や施設において確認してください。 *（脚注4）も参照ください。	通常の利用が可能です。 *（脚注4）も参照ください。

（脚注1）： 「全受講者がおよそ150名」の基準は、おおまかな目安であり、絶対的な基準ではありません。受講される授業が「授業タイプX」であるか「授業タイプY」であるかは、教室の収容人数や形態によっても異なるため、各授業の担当教員の指示に従ってください。

（脚注2）： 事前に許可された学生、あるいは他の事情などで大学に来ている場合は、「対面受講」も可能です。ただし教室定員を超える受講者が在室の場合は、「対面受講日のグループ」に該当する受講者の「対面受講」ができるように優先、配慮してください。下の <大学での対面受講に関するお願い> も確認ください。

（脚注3）： PC演習室については、「同時双方向オンライン受講」ができない学生のみ利用可能です。

（脚注4）： 総合図書館では郵送による圖書の貸出を受け付けます。メールにてお申し込み下さい。

<大学での対面受講に関するお願い>

- （1） 教室に入ることができる受講者の人数は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「収容定員（座席数）の2分の1」と設定しています（着席できない座席の机には「着席禁止」のステッカーを貼っています）。ほとんどの授業では、この人数を超えることがないように教室が割り当てられていますが、多くの人数が受講する一部の講義科目では、「授業タイプX」で「対面受講」日と指定されたグループ「以外」の受講者が、他の時間帯で行われている「授業タイプZ」の受講などで来学されることがあり、結果として教室の収容定員の2分の1を超える受講者が集まる場合があります。もしも、教室に行ったときに着席可能な座席が限られている場合、対面受講日でない受講者においては、大学内の「同時双方向オンライン受講」ができる教室（オンライン自習室）などをご利用いただき、自分のノートパソコン等（スマートフォンも利用できる場合がありますが推奨しません）の情報通信端末（イヤホン・マイクが必要）により受講いただきますようお願いいたします。
- （2） （1）のような事情に限らず、教室での「対面受講」においても、授業中あるいは授業後に、オンラインによる課題提出が必要な場合があります。そのためこうした対応ができるように、大学に来学して「対面受講」する場合でも、ノートパソコン等（スマートフォンも利用できる場合がありますが推奨しません）の情報通信端末をご準備ください。
- （3） 新型コロナウイルス感染症の「陽性」あるいは「濃厚接触者」として特定された方において、直近での本学の入構履歴が確認された場合は、特定の教室・施設が入る建物での「対面受講」を、数日間中止することがあります。大学のポータルサイトなどで案内しますので、大学からの情報には注意を払ってください。

大阪産業大学 新型コロナウイルス感染症対策会議（2021年3月12日作成）